





# 法面緑化におけるシカ対策工法

		ケイエフが推奨するシカ対策工法			
		植生マット+アーチブロック【侵入容認型】	植物誘導吹付工【侵入容認型】	グリングリーンマット工法【侵入容認型】	イノシカスライダー【侵入防止型】
施工状況					
認証		NETIS CB-170014-A	NETIS QS-980200-V	NETIS CG-170003-A	—
工法概要		法面に一定の高さの保護金網を敷設し、植生を保護する工法である。	38mm以下に破碎したチップ材を利用し、侵食性能に優れた基盤材を法面に吹付ける工法である。  飛来種子が基盤材に引っ掛かるよう、チップ材をネット状に絡みあわせた育成基盤材を作る工法である。	ポリエチレン製の注入用マットの中にスラリー状の客土を注入する工法である。	特殊樹脂ネットで「滑らせて近寄せない」新発想の獣害対策工法である。  滑りやすい表面形状により、イノシシやシカなどの蹄を持つ偶蹄目の動物の侵入を抑制する。
特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法面には侵入されるが、根こそぎ食害被害を受けないので、基盤材は安定し、流出を防ぐことが出来る。</li> <li>・20cm程度の高さにネットを浮かせ、ネット上部は採食されるが、ネット下部は採食されない構造</li> <li>・敷設は植生マットの上のみ対応可能なので小面積の法面に限る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧草類による法面緑化ではないため、シカの生息地となりにくい。</li> <li>・牧草類による早期緑化を必要とせず、基盤材自体が長期にわたって安定するため、周辺からの飛来種子を待受けることが出来る。</li> <li>・風散布や鳥散布による種を待受ける構造。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法面には侵入されるが、踏み荒らしによる基盤の流出がないため法面を安定させることができる。</li> <li>・シカの嫌いな植物(ススキ・チカラシバ・クサヨシなど)を客土と一緒に注入することも可能で、シカの生息地を作らない対策を講じることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシカスライダーに足を乗せると滑るため進めなかったりあきらめて引き返すことを狙ったものである</li> <li>・軽量でアンカーで固定するだけの簡単設置</li> <li>・積雪や落石にも強く変形しにくい構造のため維持管理が容易</li> <li>・推奨勾配は30度以上</li> </ul>
経済性 (1000㎡当り)		植生マット+金網設置工(全面敷設) <b>9,800円/㎡</b>	植物誘導吹付工 t=5cm <b>6,425円/㎡</b>	グリングリーンマット工法 t=5cm <b>6,500円/㎡</b>	植生マット+イノシカスライダー(外周設置140m) <b>6,500円/㎡</b>
1000㎡当りの工期		植生マット工 12日 金網保護工 5日 17日	植物誘導吹付工 13.2日	グリングリーンマット工 10.1日	植生マット工 11.1日 金網保護工 3日 15日
評価		シカの侵入は許すが、侵食防止効果は維持する。若干他工法に比べ割高である。  ○	シカに餌場を与えず、生息地を作らないことが中長期的なシカ対策の取組となる。価格は最も割安である。  ○	基盤材が流亡しないため、最低限の浸食防止効果は発揮することが出来る。  ○	偶蹄目動物が滑ることにより警戒させる。 外周のみマットで覆うので全面設置型の保護工より割安である。  ○